

学校だより

R6.2.22発行

清水小学校

しみず



家庭数

「心を一つに取組んだ発表会」

にこにこ組主任

2月14日に松山市総合コミュニティセンターキャメリアホールで「第61回ときめき学習発表会」が行われ、本校のにこにこ組の児童も参加しました。コロナの影響で参集して行うのは3年ぶりでした。

今年の本校の発表のテーマは「にこ・いき・はつ☆しみずっこ！」です。清水小学校の校訓である「にこにこ・いきいき・はつらつ」を歌や合奏、体操で表現しました。「にこにこの国」では、ギターの生演奏に合わせて、「にじ」という歌を手話をつけて歌いました。この歌の歌詞は、嫌なことやつらいことがあってもいつかは笑顔になれる。未来に向かって前向きに頑張っていくという内容です。子どもたちは、その思いを込めて歌いました。また、「ラララ〜♪にじが〜にじが〜空にかかって〜♪」というサビの所では、指につけた色とりどりのスカーフを円を描くように動かし、虹を表現しました。

「いきいきの国」では、キーボード、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、ウッドブロック、鈴を使って「おどるぽんぽこりん」の合奏をしました。練習では、まずは楽器ごとに、その後で全員で合わせました。最初は、なかなかテンポが合いにくかったのですが、練習を重ねることで、相手の音を聞きながら合わせることが上手になり、本番でもしっかりと演奏することができ、大きな拍手をいただきました。

「はつらつの国」では筋肉マン体操をしました。力強くそして、二人組の体操では息をぴったり合わせて体操することができました。

練習中は、「〇〇さんのせりふの言い方が分かりやすかった。」「〇〇さんの楽器の音がきれいだった。」など互いのよさを認め合う場面がたくさん見られました。また、より良い発表になるように「もう少し歌の声を出しましょう。」とか「オーの所では、全員スカーフを高く上に上げましょう。」などのアイデアを進んでどんどん出す姿も見られました。子どもたちが心を一つにし、自分たちで考え作り上げたすばらしい発表でした。



清水っ子俳句広場

冬らしい遊びを楽しんだ様子、寒さをしみじみと感じている様子などが伝わってくる俳句がたくさん集まりました。

今回は、一年生、四年生の作品から、教頭先生に選んでいただきました。

【清水っ子俳句大賞】

四年

消しゴムでうまく消せない冬の昼

(評) 消しゴムで消したいものは何だろう。それも気になりますね。冬は、気温が下がって冷たいから、消しゴムも固くなって確かに消しづらいですね。「うまく消せない」という表現が冬の曇り空と心のもやもやを連想させる俳句です。

一年

ふゆぼうしわたしのあたまほっかほか

(評) どんなぼうしかな。何色かな。毛糸かな。寒い冬の日、かぶっただけで、頭が、ほっかほかになるなんて、そんなすてきなぼうしを先生もかぶってみたい！寒くても、ぼうしをかぶって元気に外に遊びに行く姿が目にかびます。



【佳作】

四年

闇照らす夜空を泳ぐ冬の星

寒くなりこたつのみかん冬の朝

外出たら辺り一面冬景色

友達の笑顔がもうすぐ桜の芽

アラームが鳴りやまないよ冬の朝

一年

大こうぶつしずかにたべるえほうまき

ふゆやすみマリオにあったUSJ

ふゆのよるママとしょうぶだバッテリー

さむいあさせんたくもののおてっだい

ふゆの雨ほろほろしずくつめたいな

清水っ子、がんばっています！！

1年

わたしは、たいいくのでつぼうをがんばっています。いまは、さかあがりをれんしゅうしています。じゅぎょうだけではなく、ほうかごもともだちにてつだってもらったりしてれんしゅうしています。とてもたのしいので、これからもいっぱいれんしゅうしているんなわざができるようになりたいです。



3年生 クラブ見学



3年

クラブ活動を見学して、特に心に残ったのは、いろいろな活動があったことです。ボードゲーム、手芸、昔の遊びなど楽しい活動を見ることができました。ボードゲームクラブでは、オセロやしょうぎでしんげんに勝負していて楽しそうだなと思いました。手芸クラブでは、ペットボトルケースを作っていました。みんながしずかにはりでぬって、すごいなと思いました。4年生になったら、どのクラブに入ろうかとまよっています。また新しい活動ができたらいいなと思っています。

5年生 挨拶運動

5年

私は、愛校活動のあいさつ当番をがんばっています。相手に伝わるように、しっかり声を出してあいさつをすることを心がけています。あいさつが返ってくると気持ちがよくて嬉しくなるので、まだあいさつがあまりできていない人にも、この気持ちよさを感じてほしいです。清水小学校のあいさつの輪が広がるように、残りのあいさつ当番も、6年生になってからも、自分から気持ちのよいあいさつをしていきたいです。



2年

わたしは、体いくの時間に交さとびのれんしゅうをがんばりました。友だちがとても上手だったので、どうしたらそんなに上手にとべるのか聞きました。そしたら手本を見せてくれました。わたしもあんなふうにとびたくなったので、もっともつとれんしゅうをしました。そうしたら、とべるようになりました。わたしも友だちのように、だれかに教えられるくらいの名人になりたいです。



4年

ぼくは愛校活動の飼育当番をいつも楽しみにしていました。うさぎたちが気持ちよく元気に過ごせるように、掃除やえさやりをがんばりました。トムとラテはドアを開けるとすぐに外に出て来て、落ち葉をかじったり走り回ったりしていました。それを見て、また明日も当番をがんばろうと思いました。

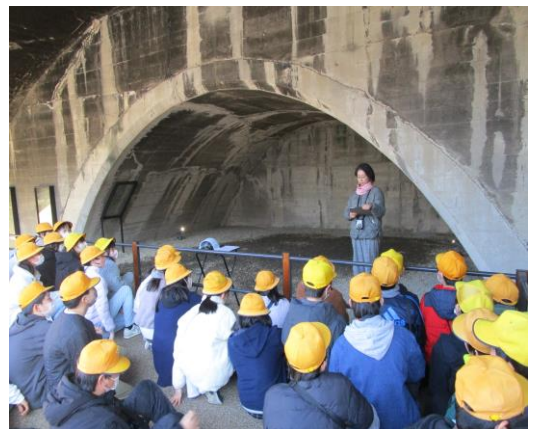
次の4年生にもうさぎたちをかわいがってほしいです。そして、5年生の愛校活動もがんばります。

4年生 飼育

6年

1月31日に掩体壕と考古館に行きました。掩体壕では、前にも松山外環状線を通るときによく見ていたので、どのようなものかは分かっているつもりでした。しかし、「極天」の文字や運ばれた石のことなどは、説明を聞いてよく分かりました。「百聞は一見に如かず」だと改めて思いました。

ぼくは、4年ぶりに考古館に行きました。「初めてきたつもり」で見学しました。お話を聞いていると、そのままの形の土器が出土することがあると聞きました。ふと、「宝くじで一等が当選する割合とどちらの確率が低いのか?」と思いました。とてもよい機会になりました。



6年生 掩体壕・考古館見学